

# 医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

購読の申し込みは  
日本医労連へ

購読料 年間1,500円(送料込)  
(組合員の購読料は組合費に含む)  
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296  
郵便振替 00160-6-84866  
ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>  
電子メール [n-ask@irouren.or.jp](mailto:n-ask@irouren.or.jp)

## 今日の聞き手は明日の語り部に 核のない世界をつくろう 原水爆禁止世界大会・広島



日本原水協は、2024年8月4日〜6日に原水爆禁止2024世界大会・広島を広島市内で開催しました。5日に分科会を挟みながら、4日の開会総会には、3200人(WEB800人)、6日の閉会総会には3750人(同1250人)の参加で、核兵器のない平和で公正な世界を実現するために、被爆者とともに、声と行動を広げていく決意を固めました。

戦後79年を経て、被爆を体験した人が年々減っており、被爆の実相を語り継ぐ「語り部」が必要です。三日間の世界大会の中で、被爆者やその思いを引き継いだ語り部から、核兵器の非人道性、その悲痛な体験が相次いで出されました。

閉会総会で話した朴貞順さん(韓国原爆被害者は、被爆後、わずかな手持ちで家族で韓国に帰国。原爆の影響で両親は体が悪く、自身が家計を支えざるをえませんでした。その後、朝鮮戦争が始まり、父を失ったと話し、「戦争、核はなくしていきたい。被害は私の代でおしまいにしてほしいと力を込めて訴えました。被爆の実相を聞く分科会で発言された被爆2世の方は、子どもを無脳症で失ったことを、妻は語り部として語っていると紹介しました。高校生300人の感想文が寄せられ、「この子の死に光が当たった」と涙を流して喜んでいました。こういう語りを若い世代に引き継いでほしい。今日の聞き手は、明日の語り部になる。原爆の手記を読み、「この人たちの声に耳をすませていこう。周りに伝えていこう」とSNSで発信しています。戦争美化の歴史教科書採択を食い止めた話し、みんながつながれば、社会や政治を動かす大きな力になる。被爆者の思いを受け継ぎ、いろんな世代と力を合わせて核兵器をなくしていきたい」と発言しました。

## こんな兵器、核以外にない 原爆について学んだ医労連産別交流会

5日夜の「日本医労連産別交流会」には、3全国組合6県医労連から57人が参加。広島原水協の高橋信雄先生(写真左下)が、「広島原爆がもたらしたものと題して、講演しました。講演は、はじめに「原爆とはそもそもなにか」として、ウランが急速に分裂することで100万度の火球となり、その火球は光エネルギーに転換され、爆心直下で3000度を超えると説明。「人の皮膚で言うと、5〜6mmが高温で焼かれた。結果、皮膚の表面が垂れてお化けのようになった」と話しました。また、100万度の火球は初速10kmの大きな衝撃波となり、「広島街が消えた」といわれたと紹介しました。

次に、放射線障害として、被爆後初期は、軽傷な方や救援や家族の安否確認で入市した方も放射線で細胞が破壊され、下痢や皮下出血斑の症状で死者が相次いだこと、十数年たっても、呼吸や食生活などで体内に入った放射性物質が、細胞を壊し、白血病や癌を引き起こしているとし、「こんな兵器は核兵器以外にない」と強調しました。また、「毒ガス兵器は、使われた第一次大戦後、すぐに禁止された一方で、核兵器禁止条約は今日まで遅れた。その原因は、原爆の非人道性を隠そうとしてきたアメリカの姿勢にある」と警告。「被爆を知る日本が核兵器禁止条約に参加すれば、影響力は大きい」と訴えました。



## 目標は全体で50万筆 新介護署名を集めよう

### 署名推進の意思統一

7月30日、「介護保険制度の抜本改善、介護従事者の処遇改善を求める請願署名」のキックオフ集会がオンラインで開催され、450人以上が参加をしました。集会では、全日本医労連の林泰則事務局次長より介護保険制度をめぐり、各地の取り組みとして大阪府保協から「高すぎる大阪の介護保険料の実態とたたかい」、長野県保協から「訪問介護の基本報酬引き下げ撤回のたたかい」の2本の報告が行われました。その後、日本医労連の寺田雄中央執行委員が行った動員を、「介護に携わる当事者の実態を伝えること

が何よりも重要」なことを強調し、①介護署名を積み上げる②自治体決議③署名紹介、国会質問を地元国会議員に要請④全国で大規模宣伝の4点が提起されました。私たちが運動で押し返した「介護利用料2割負担の対象拡大」「ケアプランの有料化」



新介護署名に関する詳細は発212号(23年度)を参照ください

## 脈路

8月12日にパリオリンピックの熱戦が終わり、28日からパリオリンピックが始まる。平和の祭典とされるオ

リンピック、その由来となった「オリンピック休戦」。2023年11月21日、パリ2024のオリンピック休戦決議が採択(賛成118票・棄権したのは、ロシアとシリア)された。「スポーツとオリンピックの理想を通じて平和でよりよい世界を築く」と7月19日から9月15日まで休戦の順守が呼びかけられた。しかし、ロシアによるウクライナ侵攻、イスラエルガザ紛争等、巻き込む戦闘は継続している。休戦は守られていない。形だけの「平和」、政治的利用、商業化した「オリンピック」には問題が多々ある。古代オリンピックで3カ月間戦いをやめた「エケケイリア(聖なる休戦)」に戻るべきだ。古代ギリシャ人にとって守らないうことは、神への冒瀆を意味するもので、ありえないこと。そして15日は日本が戦争に敗けた日。先の大戦で戦場から出された従軍看護婦は3万人。その痛苦の経験から、「ふたたび白衣を戦場の血で汚(けが)さない」と誓った労働者として、いのちと健康を守る労働者として戦争・武力行使は絶対的でない。イスラエルを式典に招待せず、「一人ひとりの微力であっても無力ではありません。」と宣言した長崎市長に連帯す。



# 2024秋闘スタート

START  
8/31-9/1

「いのちまもる  
キャラバン行動」  
スタート行動



2023年秋「キャラバン行動」スタート行動の様子(東京)

- 目的**
- ① 8時間労働で人間らしく生活できる大幅増員・夜勤改善と賃金の底上げ
  - ② 憲法改悪・戦争する国づくり阻止、社会保障の充実で安全・安心の医療・介護の実現
  - ③ キャラバン行動を通じた組織の拡大・強化

**日時**  
2024年9月26日(木)  
13:00~

**パレード** 14:30~

**場所**  
日比谷野外音楽堂

**ゲスト**  
松元ヒロさん

**スローガン**

- ① 医療・介護・福祉従事者の大幅増員・大幅賃上げを! 診療報酬・介護報酬の再改定を
- ② 医療・社会保障費を増やせ! 患者・利用者の負担増ストップ!
- ③ 保険証のこせ! 保健所増やせ! 地域の医療・介護まわれ!
- ④ 軍事ではなく外交・社会保障重視の政治を



**9/18-19**

2024年度  
組織強化拡大  
対策会議  
(医療労働会館/リアル)

詳細 医労連発第008号

**10月~12月**

組織拡大・  
共済推進月間

**10月~11月**

母性保護  
月間

→「みんなの権利ノート」の普及・活用

**9/26**

医療・介護・福祉に  
国の予算を増やせ!  
いのちまもる  
9・26総行動

**10月**

不払い労働根絶・  
年休取得促進  
月間

→「職場の権利ノート」の活用

**10/20-21**

共済推進全国  
交流集会  
(姫路/リアル)

詳細 医労連共済発第1473号

**10/25**

24秋闘要求  
提出期限

**11月**

介護を良くする  
アクション月間

**10/4**

2024年度  
秋・仲間ふやし  
交流集会(完全OL)

**10/19-20**

第8回  
全国女性交流集会  
「サンバイン  
オータムin富山」  
(1日目のみOL併用)

**日時**  
2024年10月19日(土)14:00  
~20日(日)12:00

**場所**  
ポルフォートとやま  
(富山駅徒歩5分)

**記念講演**  
金平茂紀(ジャーナリスト)

**詳細**  
日本医労連発第006号

**サンバイン  
オータムin富山**

10.19: 20:  
10.20: 12:00

**11/13-14**

日本医労連  
中央行動  
(国会議員要請・対政府交渉)

**11/7**

ストライキを含む  
全国統一行動日

**11/6**

統一回答  
指定日

**第15回  
地域医療を守る  
運動全国交流集会**  
(全労連会館・OL併用)

**GOAL  
11/23**

## 「最賃では家族がもてない」 最低賃金生活体験報告交流会

日本医労連青年協議会は、6月から7月に行った「最低賃金生活体験」の終了に伴い8月5日に報告交流会を開催し、体験を通して得られた学びを交流しました。



開会に先立ち、青年協議会の藤原伍委員が挨拶を述べ、「今回の最低賃金生活体験を通じて、最低賃金への関心を広げていくことが重要」と訴えました。

最低賃金生活体験の報告は、青年協議会の土田典子事務局長が行いました。

今年で9回目を迎えた最低賃金生活体験の参加者数は、5全国組合引継医労連85人、参加者同士の交流や、情報共有のために設置したライブチャットに44人が登録しました。参加登録者うち、集約されたのは全国組合18都道府県に適用される引で、超過しなかった人は

最後に土田事務局長は、「全国一律最低賃金の実現とともに、『第二の賃金』ともいわれる社会保障などの、社会全体に関わる賃金の引き上げを求めていくことも重要だ」と強調しました。

閉会あいさつで梅本哲男委員は、「賃金が社会情勢にどう影響を及ぼるか、また次にどう行動をおこせばよいか改めて考える機会となった」と述べ、青年協議会として必要だと感じたことでも運動をすすめる決意が述べられました。

最低賃金生活体験の結果詳細は、月刊「医療労働」10月号に掲載予定です。

### 全国学習交流集会 IN 千葉

(開催要項)

■主催/労働者教育協会

■プログラム

10月12日(土) 13:00~17:00  
13:00~15:10 全体会・基調報告  
記念講演 安田菜津紀さん  
(認定NPO法人 Dialogue for People 副代表/フォトジャーナリスト)

15:30~17:00 分科会(感想交流)

10月13日(日) 10:00~16:00  
10:00~14:00 分科会※昼食休憩含む

- ① 平和と日本の安保問題を考える  
五十嵐仁/法政大学名誉教授
- ② めざせ労働組合のバージョンアップ  
黒澤幸一/全労連事務局長
- ③ 憲法にそくして人権について考える  
青龍美和子/弁護士
- ④ ジェンダー平等の実現をめざす  
杉井静子/弁護士
- ⑤ 食の安全をどう守るか  
小倉正行/『食べもの通信』編集顧問兼編集世話人
- ⑥ 学習教育運動交流会  
長久啓太/岡山県学習協事務局長
- ⑦ 青年企画 防災体験バスツアーとバーベキュー交流
- ⑧ フィールドワーク 千葉市戦跡めぐり
- ⑨ [併設] 勤労者通信大学公開スクーリング

14:20~16:00 全体会・感想発言・まとめ  
学習講演: 宮崎礼二さん  
(明海大学准教授/千葉県学習協会会長)

■参加費  
5,000円(現地2日間参加)  
現地1日参加 2,500円  
オンライン視聴 2,000円(両日とも全体会のみ)  
※宿泊は参加者各自で手配をお願いします

■連絡先  
労働者教育協会  
東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター5F  
HP <http://www.gakusyu.gr.jp/>  
TEL 03-5842-5642 FAX 03-5842-5645  
メール tomo@gakusyu.gr.jp

**秋闘グッズ**

立ち上がろう、誇りを持って働ける職場へ

2024秋闘  
大幅賃上げ  
増員

秋闘ポスター A2サイズ  
秋闘ワッペン





